

国勢調査2020

国内に住む全ての人と世帯が対象



国勢調査2020が実施されます

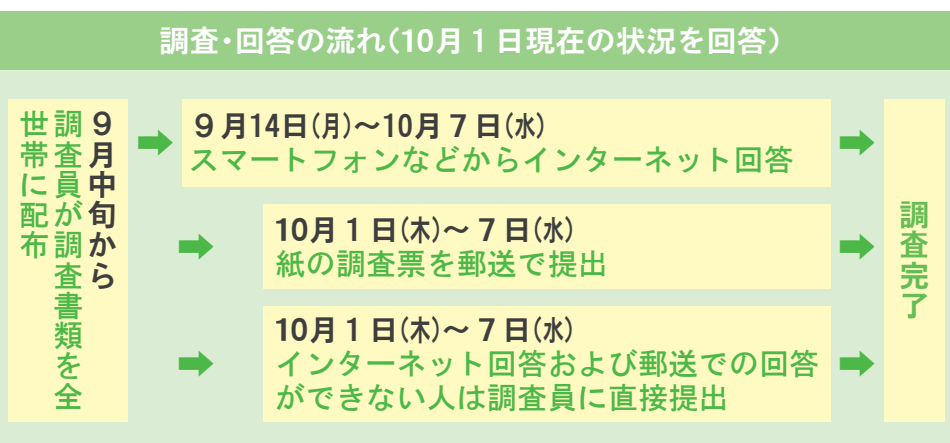
- **国勢調査は、統計法に基づき、国内の人口や世帯の実態を明らかにするために実施される、国の最も重要な統計調査です。**
調査の結果は、福祉や防災などさまざまな行政施策の基礎資料となるほか、商品やサービスの需要予測、店舗の立地計画の作成など、民間事業者においても幅広く利用されます。
- **対象** 令和2年10月1日現在、日本国内に居住する全ての人（外国人を含む）と世帯
- **調査内容** 対象者個人に関する事項15項目（氏名・性別・就業形態など）と、世帯に関する事項4項目（世帯員数や住居の種類など）
- **回答方法** 次のいずれかの方法で回答してください。
- ① **インターネット（パソコン・スマートフォンなど）による回答**
調査員から配布される「インターネット回答利用ガイド」の手順に沿って回答してください。
- ▼ **インターネット回答期間**
9月14日（月）～10月7日（水）

【問い合わせ先】
▽本館総務課（☎41-3507）
▽各総合支所地域づくり係
大迫（☎41-3121）
石鳥谷（☎41-3441）
東和（☎41-6511）

■ **個人情報情報は守られます**
調査員には、統計法により守秘義務が課せられています。回答いただいた内容は、統計の作成・分析の目的のみに使用され、外部に出されることは一切ありませんので、安心して回答してください。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、インターネットまたは郵送による回答を推奨しています。やむを得ず調査票の回収を調査員に依頼したい場合は、本館総務課または各総合支所地域づくり係へお問い合わせください。

② **紙の調査票による回答**
調査員から配布される紙の調査票に記入し、返信用封筒に入れてポストに投函してください。
▼ **紙の調査票による回答期間**
10月1日（木）～7日（水）



国勢調査2020
総合ウェブサイト
〔回答は9月14日（月）から〕

https://www.kokusei2020.go.jp/

「国勢調査2020」で検索すると総合ウェブサイトへアクセスできます

第30回 宮沢賢治賞・イーハトーブ賞 受賞者が決定しました

「宮沢賢治賞」「イーハトーブ賞」は、宮沢賢治に関する優れた研究や、その精神を实践している個人または団体に贈られる賞です。この二つの賞は、本市が毎年度、候補者の選考について「宮沢賢治学会イーハトーブセンター」（*）に意見を求め、その選考結果を受けて決定・表彰しています。

厳正な審査の結果、宮沢賢治賞に1人、宮沢賢治賞奨励賞に2人、イーハトーブ賞に1団体、イーハトーブ賞奨励賞は該当者なし、と決定しました。

ブ賞に1団体、イーハトーブ賞奨励賞は該当者なし、と決定しました。

* 宮沢賢治とその作品を愛好・研究する人たちの集う場として、相互に理解を深めることを目的とした組織

【問い合わせ】
本館賢治まちづくり課（☎41-3591）

宮沢賢治賞

文化人類学者・批評家
今福 龍太 さん

文化人類学者としての博識と芸術的感性に基づき、著書『宮沢賢治 デクノボーの歎（なげ）知（し）』を執筆。イーハトーブを縦横無尽に経巡りながら、そこに潜む未来的な倫理を浮かび上がらせた内容が高く評価されました。

宮沢賢治賞奨励賞

日本近代文学研究者
構 大樹 さん

学校教育における受容を中心に、社会的背景を考慮しつつ宮沢賢治受容史の全体像を提示した『宮沢賢治はなぜ教科書に掲載され続けるのか』を執筆。宮沢賢治受容の初の通史として高く評価されました。

宮沢賢治賞奨励賞

映画監督
吉田 重満 さん

宮沢賢治の言葉と岩手の風景を尊重し、厳密な編集と構成によって法華信者としての賢治の生涯を映像化した『怒いの王-宮澤賢治-』を制作。宮沢賢治を巡る新たな芸術作品として高く評価されました。

イーハトーブ賞

劇団 わらび座

秋田県を拠点に賢治童話や東北の歴史・文化を題材とした演劇活動を長年継続。地域の文化振興に貢献してきた功績が認められました。